

地方CR活動

山形県協会

山形県ヘルプマーク普及活動へ活動資金助成金を寄付しました

山形県協会（会長：本多光一郎 第一生命山形支社長）は8月6日に山形県庁を訪問し、「ヘルプマーク」の普及に役立てていただくため、山形県に10万円を寄付しました。

「ヘルプマーク」とは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方、または、発達障害の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からぬ方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなることを目的としており、県でも積極的に普及を推進しています。

本多会長から「山形県内でもヘルプマークへの理解が浸透していくことで、社会の心のバリアフリー化が一層進むことを願います。」と目録をお渡しし、県の酒井雅彦健康福祉部長からは、「今後も取組みを啓発していきます。」として謝辞をいただきました。

なお、山形県生命保険協会からの山形県へのヘルプマーク普及への寄付は、今回で6回目となります。

